高梁川水系水利用協議会

報道発表

配布先：岡山県政記者クラブ
岡山市政記者クラブ
倉敷記者クラブ

発 表 日	令和 8年 11月 18日
発 表 者	高梁川水系水利用協議会 事務局

１１月１８日正午、高梁川水系の取水制限を全面解除します

～主要６ダムの貯水量が平年並みに回復～

高梁川水系水利用協議会（事務局：岡山河川事務所）は、11月18日開催の「第4回渇水調整会議」において、11月18日正午をもって取水制限を全面解除することを決定しました。
これにより、岡山河川事務所の「渇水対策支部」を解散します。

１．決定の理由

高梁川水系水利用協議会（事務局：岡山河川事務所）は、高梁川水系の主要６ダムの合計貯水量の減少により、第１回～第３回の渇水調整会議の結果を踏まえ、令和８年１０月２日より第３次取水制限を実施しておりましたが、その後の降雨などにより貯水量が平年並みに回復したため、１１月１８日開催の「第４回渇水調整会議」において、１１月１８日正午をもって取水制限を全面解除することを決定しました。

２．高梁川水系の渇水調整の経緯（令和８年度）

第1回渇水調整会議（令和8年9月3日 10時30分～）

第1次取水制限
渇水対策支部設置（令和8年9月7日 10時～）
◆上水道（実績取水量から） 5%
◆工業用水（実績取水量から） 10%
◆農業用水（許可取水量から） 20%

第2次取水制限（令和8年9月18日 正午～）
◆上水道（実績取水量から） 10%
◆工業用水（実績取水量から） 10%
◆農業用水（許可取水量から） 20%

第3次取水制限（令和8年10月2日 正午～）
◆上水道（実績取水量から） 10%
◆工業用水（実績取水量から） 15%
◆農業用水（実績取水量から） 50%

第4回渇水調整会議（令和8年11月18日 10時30分～）

取水制限全面解除
渇水対策支部解散（令和8年11月18日 正午～）

【制限日数】
７３日間

＜問い合わせ先＞
高梁川水系水利用協議会 事務局
国土交通省 中国地方整備局 岡山河川事務所 ０８６－２２３－５１０１（代表）
副所長 岩田（いわた） 輝貴（てるき） （内線２０６）
占用調整管理官 土井（どい） 学（まなぶ） （内線３０３）
管理課長 山本（やまもと） 智一（としかず） （内線３３１）

岡山三水系　主要6ダム貯水量

参　考
（令和８年度 高梁川水系水利用協議会
第４回渇水調整会議資料より）

国土を整え、全力で備える
国土交通省中国地方整備局
岡山河川事務所
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Chugoku Regional Development Bureau
流域治水

三水系の主要ダムの貯水状況

速報値

高梁川水系　主要ダム貯水量

（2026年11月17日 午後4時現在）

ダム名	利水容量（千m3）	貯水量（千m3）	※1貯水率（%）	前日との増減（千m3）	備考
千屋ダム	14,200	9,373	66.0	182	
河本ダム	5,252	5,252	100.0	0	6つのダムの貯水率は 70.2 %です。
高瀬川ダム	580	580	100.0	0	（6つのダムの平年貯水率は 67.4 %）
三室川ダム	4,100	3,873	94.5	103	
小阪部川ダム	15,136	7,995	52.8	258	前日の流域平均降水量は 0.1 mmです。
新成羽川ダム※2	67,295	47,699	70.9	3,882	
計	106,563	74,772	70.2	4,425 (4.2%)	

※1 貯水率は洪水期利水容量に対する貯水量の比率
※2 新成羽川ダムの貯水量は前日に比べて変動していますが、これは降水による他に揚水発電※3によるものです。
※3 揚水発電とは、上流ダムから発電放流した水を下流ダムで貯留し、その水を上流ダムにくみ上げて、再度、発電放流するものです。

旭川水系　主要ダム貯水量

（2026年11月17日 午後4時現在）

ダム名	利水容量（千m3）	貯水量（千m3）	※貯水率（%）	前日との増減（千m3）	備考
湯原ダム	72,000	40,022	55.6	1,670	2つのダムの貯水率は 68.3 %です。
旭川ダム	28,772	28,772	100.0	0	（2つのダムの平年貯水率は 68.5 %）
計	100,772	68,794	68.3	1,670 (1.7%)	前日の流域平均降水量は 0.2 mmです。

※ 貯水率は洪水期利水容量に対する貯水量の比率

吉井川水系　主要ダム貯水量

（2026年11月17日 午後4時現在）

ダム名	利水容量（千m3）	貯水量（千m3）	※貯水率（%）	前日との増減（千m3）	備考
苫田ダム	28,100	27,689	98.5	115	3ダム、2堰の貯水率は 95.2 %です。
津川ダム	1,950	1,942	99.6	13	（3ダム、2堰の平年貯水率は 90.8 %）
八塔寺川ダム	770	770	100.0	0	
新田原井堰	2,000	1,378	68.9	−6	前日の流域平均降水量は 0.5 mmです。
坂根堰	1,600	992	62.0	−8	
計	34,420	32,771	95.2	114 (0.3%)	

※ 貯水率は洪水期利水容量に対する貯水量の比率

高梁川水系　主要6ダム貯水量

参　考

（令和８年度 高梁川水系水利用協議会
第４回渇水調整会議資料より）

国土を整え、全力で備える
国土交通省中国地方整備局
岡山河川事務所
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Chugoku Regional Development Bureau
流域治水

令和8年11月17日午後4時時点

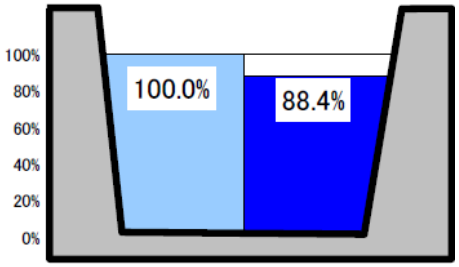
凡　例

現在貯水率	平年貯水率

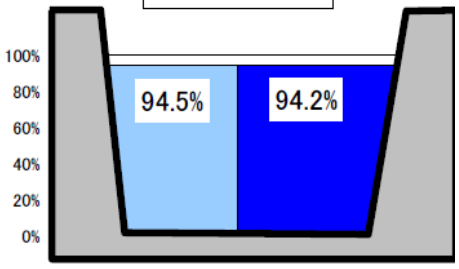
平年貯水率
H28～R7年の平均貯水率



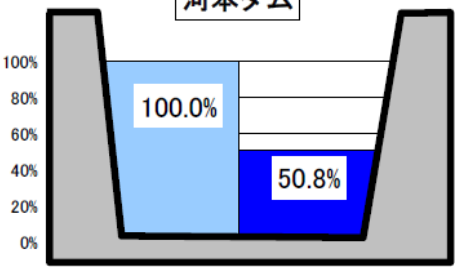
高瀬川ダム



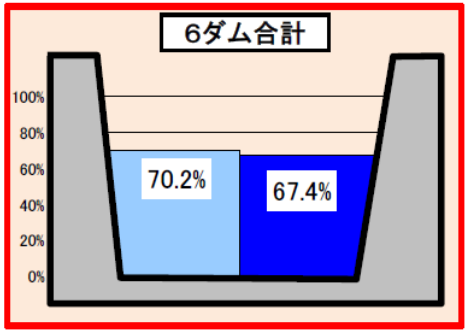
三室川ダム



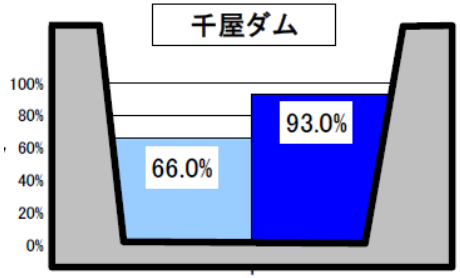
河本ダム



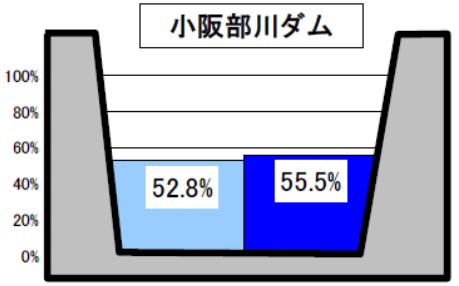
6ダム合計



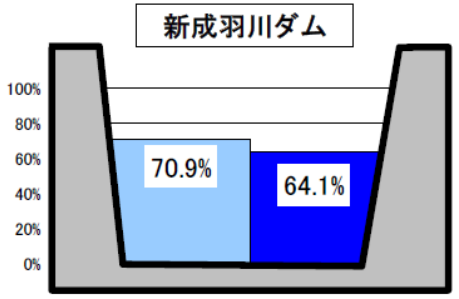
千屋ダム



小阪部川ダム



新成羽川ダム



取水制限の効果（主要6ダムの回復）

参　考
（令和８年度 高梁川水系水利用協議会
第４回渇水調整会議資料より）

国土を整え、全力で備える
国土交通省中国地方整備局
岡山河川事務所
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism Chugoku Regional Development Bureau
流域治水

- 高梁川水系主要6ダムの貯水率は、**９月２８日に２２．７％と今年最低を記録**した。
- ９月７日以来の、３段階・７３日間に及ぶ取水制限の実施と降雨により、**１１月１７日午後４時現在７０．２％**と**平年並みに回復**している。

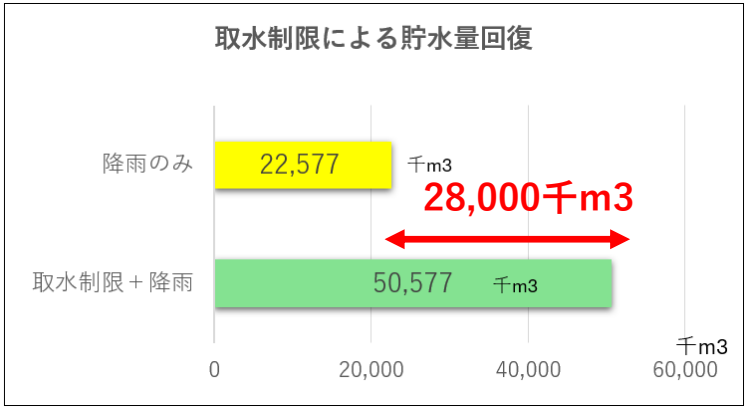
○第１次・第２次・第３次取水制限の効果

取水制限の効果

９月７日～１１月１７日累計量＝約28，000千m3※1
（小学校プール約９万３千個分に相当※2）

※1　第1次・第2次・第3次取水制限による取水量減少分の累計量
※2　小学校プールの容量を３００m3と仮定して計算

ダム貯水率の回復状況		回復要因と比率	
９月２８日　２２．７％	４７．５ポイント回復	降雨	２１．３ポイント
１１月１７日７０．２％		取水制限	２６．２ポイント



取水制限なしでは貯水率は２１．３ポイント増の４４％にとどまったと考えられる。

取水制限の効果（来春の水需要への備え）

参　考
（令和８年度 高梁川水系水利用協議会
第４回渇水調整会議資料より）

国土を整え、全力で備える
国土交通省中国地方整備局
岡山河川事務所
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Chugoku Regional Development Bureau
流域治水

千屋ダム状況

【渇水時】



令和8年9月28日_9時現在

【回復時】



令和8年11月16日_9時現在

河本ダム状況

【渇水時】



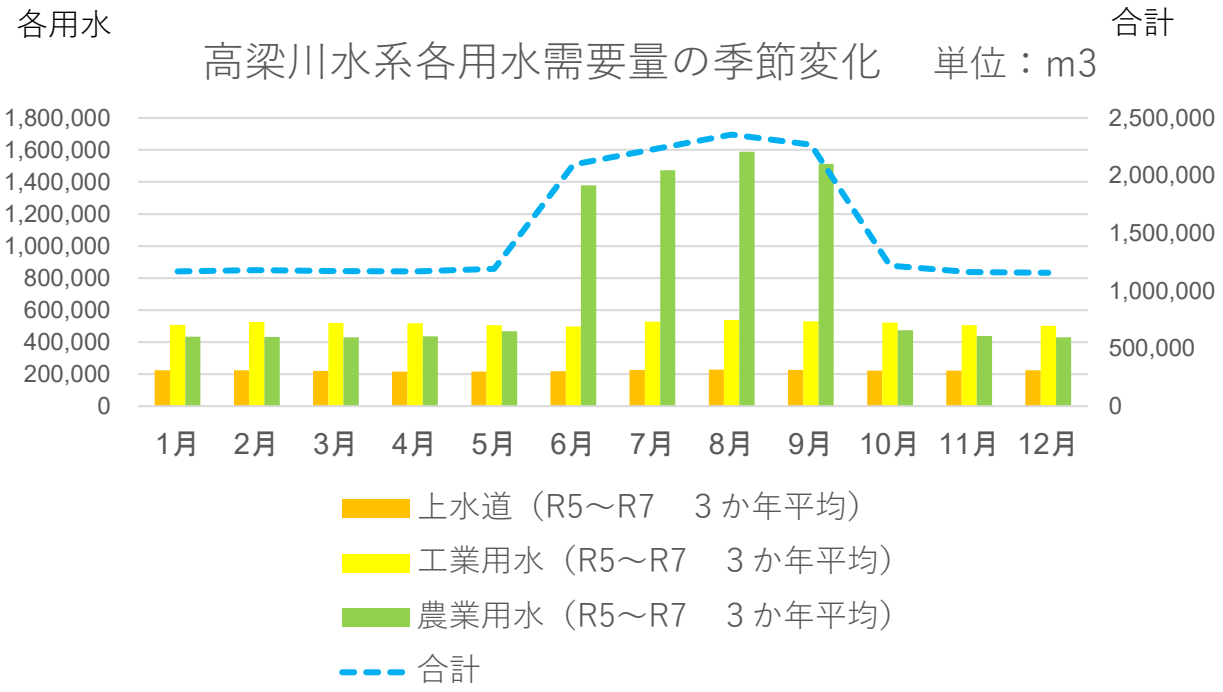
令和8年9月28日_9時現在

【回復時】



令和8年11月16日_9時現在

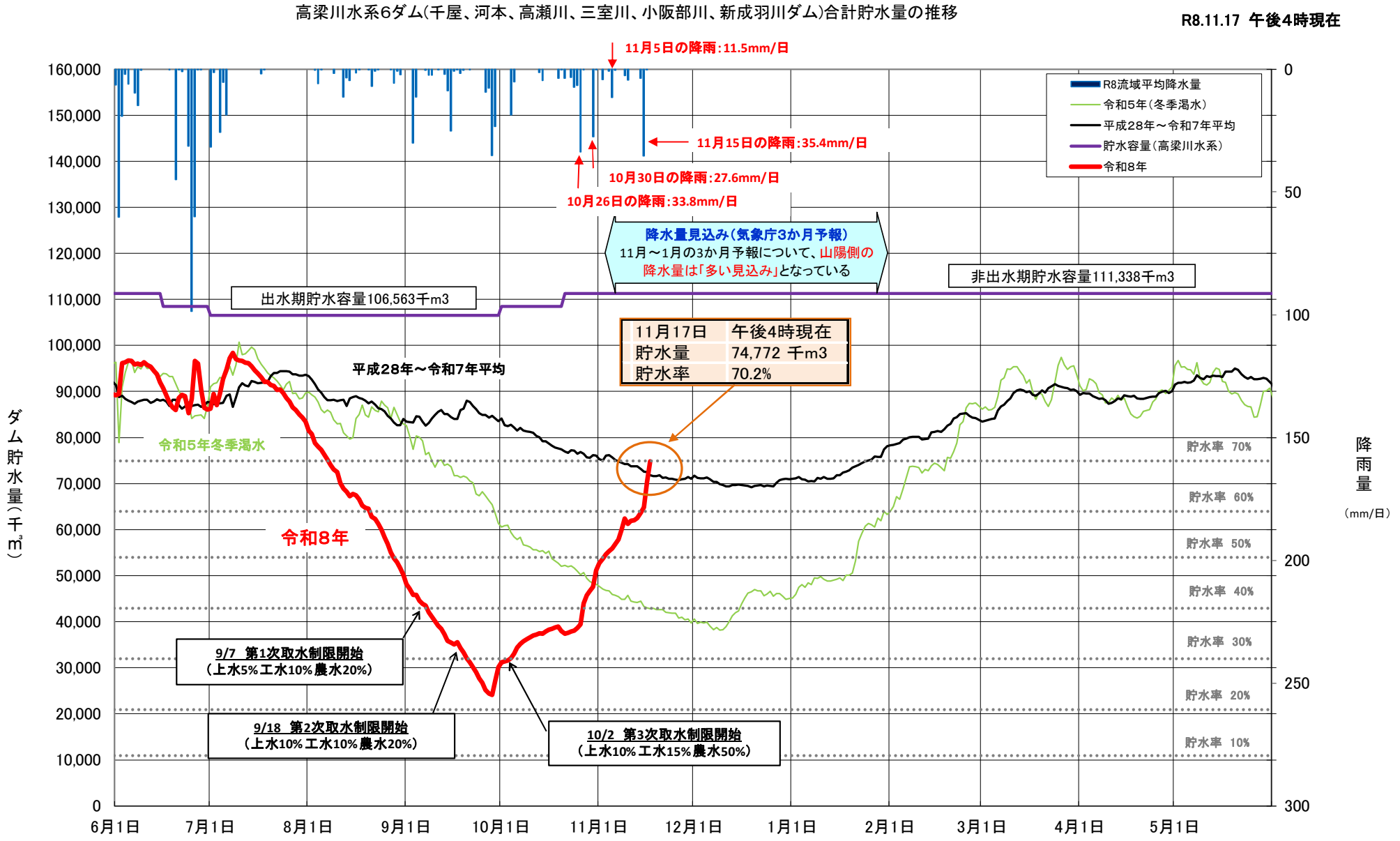
※写真は岡山県HP
「高梁川水系の渇水情報」より



- 高梁川水系は、広範囲の市民生活を支える上水道、大規模工場を支える工業用水、広大な耕作地を潤す農業用水に対して水資源を供給している。
- 特に田植が行われる６月から稲が穂をつける８～９月までは農業用水を中心に水需要のピークを迎えるため、そこを見据えて十分にダム貯水率を回復させる必要があった。

参　考
（令和８年度 高梁川水系水利用協議会
第４回渇水調整会議資料より）

（2）高梁川水系の主要ダム貯水量および降水量



注1. 令和8年の貯水量は速報値